

2021年度 船員教育機関と日本船主協会・内航海運業界との  
人材確保・育成に関する懇談会について

当協会（九州地区船主会）と九州地区船員対策連絡協議会（会長：宗田銀也 旭海運有限会社 代表取締役社長）は共催で、2021年7月6日（火）に「人材確保・育成に関する懇談会」を開催した。当協会からは、鶴丸俊輔 九州地区船主会議長、田渕訓生 内航委員会委員長、三木孝幸 同副委員長、宇佐美和里 常務理事が参加した。

同懇談会は、若年船員の確保・育成を目的に、船員教育機関と内航海運業界が率直な意見交換を行うもので、新型コロナウイルスの影響により2020年度は開催を見送ったものの、12回目となる今回は同ウイルス感染対策の観点からオンライン形式で行い、60名を超える参加があった。

今次会合では、まず、国土交通省海事局内航課から「内航海運の現状と今後の施策」をテーマに基調講話が行われ、内航業界や内航船員に係る課題や、同省としての対応等について説明があった。

その後、生徒を内航業界に送り出す側の教育機関と、採用する側の内航海運事業者の意見交換が行われた。事業者側から、生徒の就職活動に係る情報収集方法や学校のサポート等について質問があり、各校からそれぞれの状況が示された他、「日本を支える内航輸送を担う船員を育てる学校の定員をもう少し増やしてほしい」、「若年層船員の確保・育成が事業継続上の課題」等のコメントが出る等、他産業との人材確保競争の激化等も踏まえつつ、活発な意見交換が為された。意見交換を通じ、会合では、本年8月の内航船腹調整事業終了など、内航海運業界が転換期を迎えつつある中、今後も船員の働き方改革や若年船員の確保・育成に向け、官民学一体となって一層取り組むべき必要性が再認識されるとともに、今後も本懇談会を継続的に開催し、関係者の共通理解を維持することの重要性が改めて確認された。

<参加者一覧>

【教育機関】

水産系高校：

山口県立大津緑洋高等学校、  
長崎県立長崎鶴洋高等学校、  
福岡県立水産高等学校、  
熊本県立天草拓心高等学校、  
大分県立海洋科学高等学校、  
鹿児島県立鹿児島水産高等学校、  
沖縄県立沖縄水産高等学校

海上技術学校：

国立唐津海上技術学校、  
国立口之津海上技術学校

【内航海運事業者】

日本船主協会

九州地区船主会：

鶴丸海運、日本サルヴェージ、  
アジアパシフィックマリン、豊鶴海運

内航委員会・会員会社：

田渕海運、三洋海運、栗林商船、瀬野汽船、  
二丈海運、鶴見サンマリン

九州地区船員対策連絡協議会：

旭海運、霧島海運商会、大坪組、雄和海運、  
福正汽船、瀬戸内中央汽船

九州地方海運組合連合会：

やまさ海運、大分海運、エイワマリン、松盛汽船、  
大寿汽船、宇部興産海運、崎永海運、伊予船舶

【行政機関】

国土交通省海事局内航課、同省九州運輸局海事振興部

【関係団体】

日本内航海運組合総連合会



(左) 主催者挨拶を行う鶴丸 日本船主協会九州地区船主会議長  
 (右) 主催者挨拶を行う宗田 九州地区船員対策連絡協議会会長



(左) 基調講話を行う内航課 渡部 内航海運効率化対策官  
 (右) 意見交換を総括する三木 日本船主協会内航副委員長



(左) 田渕 日本船主協会内航委員長による懇談会総括  
 (右) 阿部 九州地区船員対策連絡協議会副会長による懇談会総括



オンライン会議の様様

以上